

## QBIC第2期活動

# 標準化WG 2020年度活動計画

**2020年7月**

**標準化WG リーダ 林 正明**

**サブリーダー 浅里 幸起**

**事務局 濱田 英幸**

## (1) 位置情報交換フォーマットの規格のFIX

- ・位置情報交換フォーマットの規格書制定

⇒第4回 WGにて規格案が合意

⇒QBIC WEBページにおいてパブコメ募集

2019年度末 ⇒QBIC規格として制定(ご協力ありがとうございました)

## (2) 端末コードのISO化への活動推進

- ・SJAC「衛星測位システム国際標準化委員会」を通じたISO化推進

⇒ブラジルのエキスパートが選出されなかったため、NWIPとして賛成を得られなかった。

⇒フランス、米国等から寄せられている質問、アドバイス等に基づき、一部を修正(メリット等を明確化)して標準化会議に再提案

- ・GNSS+ 2019年(@マイアミ)においてロビー活動の実施

## (3) 相対位置の標準化議論の開始

アンカーポイントからの相対位置の定義等に関する標準化の必要性についてWG内で合意し、議論をスタートさせた(第4回、第5回会合において議論)

-相対位置の定義、標準化の範囲など基礎的な項目について認識の統一を図る

## (1) 相対位置の標準化検討

- ① 相対位置の定義、ユースケースの共有、理解を深めるための更なる議論
- ② 標準化項目: 例: アンカーポイントの決め方  
アンカーポイントからのオフセットの測り方、精度 等
- ③ 事例共有: 相対位置の活用事例の紹介  
⇒ 専門家による相対位置情報の実際の使われ方等について専門家講演 (TBD)  
～2020年度末までに標準化仕様制定 (目標: 2020年度末まで)

## (2) 位置情報フォーマットのISO化への活動推進

- ・ SJAC「衛星測位システム国際標準化委員会」を通じた交換フォーマットのISO化  
推活動推進 (2020年度から実質スタート)
- ・ ISO化へのマイルストーンの明確化、共有
- ・ 提案書 DRAFT 作成。
- ・ 海外での紹介、ロビー活動  
(ION GNSS+2020 (9月) で発表 (予定) - コロナの影響で Withdraw  
**PTTI: 2021年1月25日に再提案**)

## (3) 位置情報交換フォーマットISO化フォロー

- ・ ISOへの提案採択にむけたフォロー
- ・ 必要に応じた一部変更の検討

# 2020年度計画



項目	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
標準化WG			第1回会議 (6・18)			第2回会議 (9・10)			第3回会議 (11・19)		第4回会議 (1.21)	第5回会議 (3・4)

・2020年度 通算5回の会合を予定

2019年度:実績5回(6回予定) :COVID-19影響により中止1回

・VCによる会合を積極的に検討

本年度も引き続きよろしく申し上げます